



むらさき朝会「物を大切にする」

本日7(木)は、むらさき朝会でした。今月の生活目標は「🍎物を大切にしよう」です。私の方からは、子供たちに次のような話をしました。

まず、子供たちには、前回のむらさき朝会のおさらいも含めて、命とは、これから皆さんの、生きていく時間の中に存在しているし、「物」は、お家の人が生きていく時間を使って得たお金で買ってもらったのだと話しました。

そして6年生に「ランドセル以外で、6年間使っているものを見せてもらいました。「連絡袋」「筆箱」「帽子」など見せてくれました。

その後、物を大切にしていたプロ野球選手の話をしました。イチロー選手の道具を大切にすることは有名ですが、新庄日ハム監督のグローブを大切にしていた逸話も、よく知られています。新庄選手は、初任給の中から7,500円のグローブを買い、4度も修理を重ねながら、引退するまでの17年間使い続けたそうです。その理由を新庄選手は、「父から『商売道具を大切にすれば結果は付いてくるから粗末にするな』という教えがあったから。」と答えています。

そして、もう一度子供たちに物を大切にしなければならない理由を伝えました。それは、「物は自分と外の世界とをつないでくれるから」です。お家の人に買ってもらった文房具は、学びと繋いでくれるし、おもちゃは遊びと繋いでくれます。さらに洋服や自転車などは社会と繋いでくれるのです。

このように、物を大切にし、外をつなぐ意識することで、「①自分が関わる人にも、気を配ることができる。②人間関係もよくなる。③「自分らしさ」を大切にすることができる。」と伝えました。

今一度自分の「物」が何と繋がっているのかを考えて欲しいと思います。お家でも、「物」について話題にあげていただけるとありがたいです。



中庭のあの魚

中庭のメダカの池では、メダカたちが群れをなして泳いでいます。メダカは、海外でも「medaka」と通じるくらい日本を代表する魚の一つとなっています。野生の日本のメダカは、長い年月をかけて、インドからやって来たと考えられています。それでは、日本には一体何種類くらいの野生のメダカがいると思いますか？

日本の野生のメダカは、これまで1種類だと考えられてきました。しかし、今では「ミナミメダカ」と「キタノメダカ」の2種類いることがわかっています。ミナミメダカは太平洋側や兵庫県より西に棲んでいます。キタノメダカは、兵庫県から青森県までの日本海側に棲んでいます。これは東北地方にある奥羽山脈などが約500万年前にでき、地域間で移動ができなくなって2種類に分かれたそうです。中庭の色とりどりのメダカを見ると、メダカも個性豊かになってきたと思います。

